

# 未来

郵政産業ユニオン  
**PIWU**  
 全労協・郵政産業労働者  
 ユニオン長崎中郵支部  
 機関紙「みらい」  
 NO. 3884  
 '18年8月28日(火)  
 Fax 095-828-1953

# 正社員登用と新卒採用の大幅拡充が必要だ

おはようございます。今週は久しぶりに週間天気予報に曇りや雨マークが並び、多少気温が下がるとのことです。長かった夏も一段落するかもしれませんが、「秋」までもう少し、疲労蓄積が応える時期ですが体調に注意して乗り切りましょう。

今年度の正社員登用試験一次審査が来週まで行われていきます。一次の合格通知が10月上旬、最終合格通知が来月1月下旬の長丁場の試験です。受験者の皆さんの合格を応援しています。日本郵便の今年度の採用予定数(下記表)は3500人程度とされています。昨年の合格者数は3279人だったので少しは門扉が広がりまして、それでも19万人非正規社員数からすれば狭

き門であることに違いありません。郵政ユニオンは要員不足解消の為に非正規社員のモチベーション維持のためにも登用数を大幅に増やすように交渉を行っていきます。一方、20



19年度4月新採用予定数は左記表の通りグループ会社全体で4800人(他に新高卒採用試験あり、数は非公表)です。日本郵便の内訳は、地域基幹職では窓口コース約700人・郵便コース約500人・JP金融アドバイザーコースが800人。一般職では窓口コース約1500

人・郵便コース約700人となっています。郵便コースの新規採用数はわずかに1200人、要員不足を解消しようという数字ではありません。地域基幹職が定年退職で減少した分を、正社員登用試験で登用された一般職に置き換えているだけです。登用された350

いると思われます。H24年に提案された「新たな人事・給与制度」では、地域基幹職を5割以上削減し、一般職に置き換える方針が示されています。昨今の採用・登用計画を見れば計画に基づいて推移していると思われま



しかし、それも登用された一般職の数だけ、期間雇用社員を安定的に雇用できるという保証があつての話です。期間雇用社員を確保できず、廃休・超勤をしなければ業務運行が出来ない局がほとんどです。



正社員登用数を増やすこと、あるいは5年以上勤務したものすべてを登用すること、新卒採用者数を大幅に増やすこと以外に、現在の要員不足を解消する手段はないと考えます。要員を確保し、安定した業務運行を図るのは会社の責務です。

会社名	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命	日本郵政
	郵便コース	窓口コース		
採用予定数	2,700人程度	800人程度	100人程度	50人程度

日本郵政	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命
35人	4,260人	250人	255人
総合職 15人	総合職 60人	総合職100人	総合職90人
業務職 10人	地域基幹職 2,000人	エリア基幹職150人	業務職115人
一般職 10人	一般職 2,200人		一般職50人

地域基幹職			一般職	
窓口コース	郵便コース	JP金融アドバイザーコース	窓口コース	郵便コース
60人	25人	100人	290人	55人

0人分は、当然新たに期間雇用社員を雇わなければなりません。以前、日本郵政グループでは毎年3万人以上の非正規社員が就職し、同程度の数の退職が出ていると聞きました。数は公表されていませんが、正社員も採用後数年以内で多く退職して

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めさせ、均等待遇、なくそう差別！ ユニオンは労契法裁判に勝利するぞ！